



「その後」を追跡! あの提言はどうなった?

市議会では、本会議での一般質問や委員会が提出する提言書、市民からの請願など、さまざまな方法で市に要望を伝えています。このページでは、議会からの要望の「その後」を追跡します。



平成30年1月 市民生活委員会が提出
「防犯カメラ事業についての提言書」

提言「防犯カメラは市で一括管理を！」

町会・自治会の負担とならない、市が設置・管理する防犯カメラ事業を提言

あれから3年…



全小学校区に設置された「見守り防犯カメラ」

市が設置・管理する「見守り防犯カメラ」が全小学校区に設置されました!

各小学校区の通学路を中心に、ビーコン受信機を備えた防犯カメラが計300台設置され、見守りを希望する子供の位置情報が保護者や家族に通知されるサービスの提供が、令和3年4月から開始されました。

カメラの設置・管理は市が行い、見守りサービスは、市と子供の見守りなどに関する連携協定を締結した事業者が提供します。

新人議員の普通救命講習

令和3年12月13日に、昨年の選挙で初当選を果たした新人議員5人が参加し、消防本部での普通救命講習を受講しました。講習では、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使い方について、訓練用の人形を用いて実践的に学んだ他、消防職員から異物除去法や止血法などについて学びました。今後も、いざという時に命を救う行動が的確に取れるよう、議員一同心掛けていきます。



議会モニターとの意見交換会

令和3年12月2日に、市民からの意見を議会運営に取り入れるために任命している市議会モニターと、正副議長・議会運営委員長・議会改革特別委員長・議会広報委員長による意見交換会を開催しました。モニターから「委員会の動画配信ができないか」「市民からの意見がどう反映されたのか進捗状況を議会だよりに掲載してほしい」など、議会運営に対するさまざまな意見が出され、活発な意見交換が行われました。
※モニターからいただいたご意見は議会ホームページに掲載しています。



議会のオンライン化が進んでいます

議会では、新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、ICTを活用した議会のオンライン化が進められています。ここでは、初めて実施されたオンラインでの研修会や視察の様子をお伝えします。

議員研修会をオンラインで受講 (埼玉県市議会第一区議長会 10月14日)

例年、近隣市の市議会議員が一堂に会して開催されていた議員研修会も、今年度はオンラインでの開催となりました。本市議会議員も、自宅や議員控室などからオンラインで研修会に参加しました。研修会の最後には、議長がオンラインで挨拶を行いました。



先進議会の視察をオンラインで実施 (茨城県取手市議会 11月4日)



コロナ禍における議会活動の新たな形として、ICT先進議会である茨城県取手市議会へのオンライン視察を行いました。取手市議会では、委員会や市内施設の調査もオンラインで行っている他、いざという時に備え、平常時からオンライン会議を有効活用しているという点が参考になりました。

他自治体からの視察をオンラインで対応 (埼玉県富士見市議会 11月4日)

本市議会では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年2月以降、他自治体からの視察受け入れを中止していましたが、オンラインによる視察対応を行いました。当日は副議長と教育長が参加し、画面越しに説明や質疑を行い、活発なやり取りが行われました。



健康福祉委員会議会懇談会
新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けている市内福祉施設の現状と課題について意見交換を行うため、私立保育園協会、介護施設、障害者施設との議会懇談会を開催しました。懇談会では、すべての施設で感染対策などにより業務負担が大幅に増大しており、もともと懸念されていた人材不足がより深刻化しているとのことであり、今後、必要とされる支援などについて意見交換を行いました。